

# 教育センターだより

平成30年4月20日 文責 渡辺富美夫



## 保小中のつながりを大切に



### 保小中連携協議会開催



4月9日（月）に、町内の保育所長、小・中学校長による、本年度初めての保小中連携協議会が開かれました。渡辺教育長より連携の意義について、「『小1プロブレム』『中1ギャップ』の未然防止にとどまらず、新設された就学相談員や町の子育て支援課も含め、互いに密な連携を取り合い、日常的なつながりを深め、役立つ関係になるようになってほしい。」とのお話がありました。

小河原センター所長からは、協議会の概要等の説明がありました。また、今年度より新しく配置された今澤就学相談員より、「子どもにとってより良い就学・進学のためには、保小中並びに関係機関との連携は欠かすことはできない。そのためにも就学相談員やスクールソ



ーシャルワーカーを活用してほしい。」というお話がありました。

その後、グループ毎、和やかな雰囲気の中で相互理解を深めつつ話し合いが進められ、今までの連携の活動を振り返りながら本年度の活動の確認や検討がなされていました。今後は、各校の連携担当者を中心に取り組んでいくこととなります。



## 小学校外国語科先行実施始まる

### No. 1 準備編

指導要領改定に伴う平成32年度からの5、6年生の小学校外国語科（本町では英語を中心に）と3、4年生の外国語活動実施になりますが、本町では、本年度から先行実施することになりました。

そのことを受けて、町では新たに英語支援教員3名を雇用し、さらには、ALT（外国人指導助手）を2名増員しました。

英語支援教員が配置され、TT授業によりきめ細かく、小学生にわかりやすい授業が実施されるとともに、小学校担任の授業力が身につくことが期待されます。



3名の英語支援教員は、授業開始に向けて、より楽しくわかりやすい授業づくりを目指した教材の開発や提示の方法など、何度も打ち合わせをしました。さらに、5名のALTとの打ち合わせでは、今までの外国語活動の様子や、これからの英語科の授業の進め方などについて、活発な意見交換を行いました。（すごい熱気を感じました。）